

3月定例会の一般質問は、10日、11日の両日行われ、12名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。

# 市政を聞く 一般質問

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。



佐久間 博  
議員

**問①** つばき回廊問題の今後の方向性と、民間の「愛タウン構想」への支援は。

答 高い関心を持っている。いづみ町拡幅を含めた市の中心市街地活性化基本計画として国の認可を受けるため、まちづくり会社や活性化協議会の設置を考慮し支援していきたい。

**問②** まちづくりを放棄するのか。市長の不退転の決意は。

答 競売にかけることはない。最善の利活用策を見極めるまでしばらく時間がかかる。

**問③** 重伝建の取り組みは。

答 7月頃に申請結果出る。

**問④** 建築基準と補助は。

答 同意者の修理5分の4以内800万円、外観新築は5分の3以内400万円限度。

**問⑤** JA前用地の企業誘致の進捗状況は。

答 予定通り2010年に操業開始する案のほか、09年夏の案もあり調整している。

**問⑥** 確約書を交わす必要と市長の認識は。

答 小浜市と企業の信頼関係と私の責任上、200%確信している。



能登 恵子  
議員

**問①** 認知症の現状と対策について。認知症と前期認知症は増加傾向。一人暮らし老人と共に悪質業者が狙い被害も多い、早急なる対策が必要。認知症初期には早期発見と適正な治療が効果的。それには専門医が必要。地域での守りとなる「認知症サポーター」養成は。

答 消費生活センター、警察、関係機関とトラブルに迅速に対応。専門医設置に向け検討。

**問②** 舞鶴・若狭自動車道、小浜西インターについて。西インターがハーフで整備されているのはなぜか。市長は所信表明で「フルインターを目

指し積極的に取組む」と約束。その可能性は。

答 性急な整備については、ハードルは高い。

**問③** 嘱託保育士の待遇改善について。保育園の統廃合・民営化のはざ間で60%の嘱託職員が低賃金で同一労働をしている。同一労働同一賃金を求める。

答 「責任の重さ」の負担感を認識。



下中 雅之  
議員

**問①** 鳥獣に対する被害防止計画を策定した市町村に都道府県知事の鳥獣捕獲権限を移譲できるようにして必要な財政上の措置が講じられるとのことであるが、今後、被害防止計画は、どのように取り組まれるのか。

答 国・県の指導のもと平成20年度中の計画策定を目標に総合的かつ効果的な被害防止対策に取り組む。

**問②** 新型インフルエンザに対する行動計画の考えを問う。

答 小浜市感染症予防対策連絡会の中に位置付

け、対応していきたい。

**問③** 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくためにも地域福祉が重要になると思われるが、取り組む上での課題を問う。

答 ひとり暮らし高齢者および障害のある方など支援を要する方が、災害時にも安心して避難できるような、地域ぐるみの体制づくりに努める必要があり、その避難支援プランが現状に添った内容になるよう対応を図っていきたい。



山本 益弘  
議員

**問①** 市道森川線の計画と今後の道路建設にあたり行政の考えを問う。

答 平成20年度から和久里、生守地区周辺において通学路を中心に道路拡幅等を実施し、その後国道162号の振興計画も含め市道森川線の拡幅改良について実施の方向で進めていく。

**問②** 有害鳥獣被害が深刻なとき捕獲に対する報償費の助成を考え、またアライグマについては報償費を拡充してはどうか。

答 市としては積極的に捕獲実施すべき個体との

認識から今後福井県に対し狩猟期間中についても一定の鳥獣については報酬費補助を強く要望していく。

**問③** 市長報酬も聖域でなく「カラカラのぞうきん」をしぼる予算編成をしたが、市民の声を紹介し市長の見解を問う。

答 市長としてムラなく公平に対処していく。(時期をみて考える)

**問④** 遠敷地係の誘致企業との契約書をはやく交わすように問う。

答 市長の任期中には契約書を交わす方針である。



宮崎 治宇蔵  
議員

**問①集中改革プランについて。**

答 第4次行政改革大綱に基づく集中改革プランは、83項目の改革プランを掲げており、平成19年度重点取り組みとして、中長期財政計画の見直し、職員数の適正化、保育園の統廃合と民営などである。

**問②地産地消について。農家の高齢化や米価下落等による農家所得の低下、遊休農地増加等、厳しい状況にある農業を再生させる振興策はないか。**

答 品目横断的経営安定対策については、加入要

件が緩和される。新規就農サポート事業を実施し、新しい担い手の確保に努める。直売や農産物加工等の活動に支援を行う。国富地区の環境保全型農業の推進を図る。

**問③ちりとてちんの経済効果について。**

答 スタジオセットをNHKから譲り受け、いづみ町商店街や食文化館などに展示コーナーを設けたい。



三木 尚  
議員

**問①北陸新幹線で敦賀駅までの認可に向け、現在嶺北地域は総力を挙げて運動しているが敦賀市以外の嶺南5自治体は傍観している良いのか。今こそ、将来の総合的な交通体系のあり方について戦略を見極めておくべき時でないか。琵琶湖若狭湾快速鉄道の実現に向け、県や福井滋賀両県の国会議員は真剣に取り組んでくれているのか。このまま、快速鉄道が計画倒れになれば結果的に若狭地域住民に新幹線若狭ルートを諦めざるためだけの方策でしかなかったことになる。早急に**

戦略の見直しが必要である。

**問②小浜西インターを、JHの計画どおり片側だけのハーフインターで残したら、若狭の政治家がいかにも無力・無能であったかという象徴となる。フルにするため市・県・嶺南自治体挙げて取り組み。**

**問③平成21年4月から県立大学が海洋生物資源学部への昇格が決定したが、若狭全域へ貢献すべく更なる充実強化をはかるべし。**

(質問のみ要約)



小堂 清之  
議員

**問①市民生活の良好な環境保全の施策と取り組みを問う。**

答 平成16年に小浜市環境基本条例を制定し大気水質等の各種測定、野外焼却の禁止、ダイオキシン対策等の取り組みを行っている。

**問②一般廃棄物の資源化の目標は。**

答 ごみの処理処分量は減少している。その結果資源化率は16年度10%から15.5%まで改善されている。20年度には27.3%まで増加させる計画である。市民との協働作業でごみを出さない地域づくりを目指していく。

**問③学校での環境教育の取り組みは。**

答 地球の豊かな自然を守り保全する努力の必要性、有限な資源を大切に長く使うこと、ごみ処理の仕組み、地域ごとの活動内容等の学習をしている。

**問④これからの環境教育は。**

答 自然や文化に親しみ、もの、エネルギーを大切にし、ごみに関するモラルの向上、環境にやさしい暮らしのための実践力を高める教育を進めていく。



垣本 正直  
議員

**問①地産地消をすすめる店認証制度の今後の取り組みは。**

答 若狭地域内で生産される地場産品を扱う市内の食料品店や飲食店等35店舗認定した。産地等の表示をし、生産の拡大、食品関連産業の振興や観光客に豊かな食のPRに繋ぐ。

**問②県立大学小浜キャンパス学部昇格の意義と本市の協力は。**

答 平成21年4月に海洋生物資源学部、1学年定員50名となる、新たな教育研究分野の拡充や水産加工食品のブランド価値を高める研究等、

地域経済の振興に直結した成果が期待される。庁舎に研究内容のPRコーナーを設置する。

**問③つばき回廊商業棟に対し市長はいつ結論を出すのか。**

答 研究協議会の意見、庁内連絡会議での検討結果、商工会議所等、関係機関の取組状況を踏まえ、総合的に判断し利活用についての大方のコンセンサスを得た段階で、出来るだけ早く方向性を示したい。



井上 万治郎  
議員

**問①限界集落活性化策を問う。限界集落とは、過疎と高齢化で存続が危ぶまれている集落。65歳以上の高齢者が住民の50%以上となっている集落。準限界集落とは55歳以上人口比50%以上の集落を言う。子どもたちは都市部に定住していて、集落に戻る予定はなく、高齢者が死亡すると、その家を継ぐ者がいないために次第に消滅の道を歩むことになる。共同体における自治会活動や祭礼の維持、稲刈りや田植の共同作業といった機能も急速に衰えることになる。中山間地域で増えてき**

ている、住民が減ることによって地方自治体が徴収する税金は減り、逆に提供する行政サービスの経費が膨らむ。森林荒廃による災害の危険性も高まる。

**問②歴史的遺産について問う。日本で初めて小浜に象が来て600年の記念の年PRに努める。**

**問③小浜小は発掘調査後校舎解体。**

**問④下根来小は地域振興に役立つ活用策を探る。**

(質問のみ要約)



風呂 繁昭  
議員

問① まちづくり、つばき回廊の方向性について。

答 研究協議会での意見、庁内連絡会議での検討結果、商工会議所をはじめ関係機関の取り組み状況等、総合的判断で利活用について大方のコンセンサスが得られた段階で方向性を出す。

問② 縦貫線といづみ町について。

答 住吉～酒井39軒中34軒契約。いづみ町は住民、事業者、行政が協同して事業化が重要。

問③ 重伝建について。

答 都市計画税の非課税扱い、建築基準法の緩和など、総合的、一体的な活動化計画を取りま

とめる。

問④ 少子化対策、子育て支援について。

答 ショートステイ、夜間保育事業の新設。放課後児童クラブ4ヶ所増で充実させる。不妊治療助成の継続、乳幼児健診の追加助成、母子手帳申請時の出産育児助成35万円など制度案内する。

問⑤ 財政について、財政調整基金を取り崩す予算編成は。

答 人件費、公債費等の義務的経費や事務費、維持補修費等の経常経費を中心に当初予算を計上。



清水 正信  
議員

問① 栗田知事が自らの任期中に「今津上中新線について実現の目処をつける」と述べ、新線実現を公約に村上市政が誕生した。どれだけ実現に近づいたのか。むしろ運営主体、採算性、建設財源等難しさが明らかになった。北陸新幹線について敦賀以西ルートが封印された状態。小浜市が昭和48年に閣議決定がされた若狭ルート実現に取り組まなければならない。

答 戦略的に考え、私なりに快速鉄道を一生懸命にやっている。

問② 少子化が加速していく中、学校の耐震補強と統廃合をどのように連動させていくのか。地域の理解を得ようとするならば、将来ビジョンを示し、議論を重ね積極的に取り組んでいかなければ何も生まれない時間が経過するばかり。また、遠距離通学費の保護者負担について全額公費負担すべきではないか。

答 要綱に基づいた助成をしていきたい。事情の変化を勘案し、交付要綱の見直しも考えていく。



松崎 圭一郎  
議員

問① 地球温暖化の大きな要因の一つに、中国から輸入される割り箸の大量使用による森林破壊がある。日本一の塗箸生産地である小浜市が、マイ箸運動という二番煎じの運動を展開するのではなく、割り箸そのものを、塗箸の里から無くすという運動を、市民一体となって取り組むべきと思うが。

答 市が考えるマイ箸運動は、割り箸を無くすためのものではなく、若狭塗箸の普及を考えての運動である。

膠着している中、北朝鮮に厳しい李明博韓国大統領に協力を求める程の大胆策を打ち出すべきと思うが。

答 膠着した状況打開のためには、環境整備を行い、出来るだけ早く総理に訪朝していただくことが望ましいと考え、過日官房副長官を訪ね要望したところである。

問② 特定失踪者に対する政府の動きが不透明で

- 採択された議案
- 【敦賀市提出】北陸新幹線の早期整備について
  - 舞鶴若狭自動車道の早期完成について
  - 国道8号バイパスの整備促進について
  - 【越前市提出】除雪に係る補助制度の拡充について
  - 【大野市提出】中部縦貫自動車道の早期整備について
  - 介護保険制度における住所地特例制度の拡充について
  - 地域医療の充実強化について
  - 地上デジタル放送への対応について
  - 【勝山市提出】積雪寒冷地域に係る諸施策について
  - 【鯖江市提出】米価安定のための取組みの強化について
  - 【あわら市提出】北陸新幹線の促進について
  - 【坂井市提出】地域高規格道路の整備について
  - 河川改修の促進整備について
  - 福井空港の利活用について
  - 【小浜市提出】北陸新幹線の実現について
  - 舞鶴若狭自動車道の整備促進ならびに小浜西ICのフルインター化について
  - 琵琶湖若狭湾快速鉄道の早期実現について
  - 自治体病院における医師の確保ならびに救命救急センター運営にかかる財政支援について
  - 【決議案】拉致問題及び特定失踪者問題に関する決議

福井県下9市の正副議長で構成する福井県市議会議長会(会長 福井市議会議長)の定期総会が、4月10日、小浜市内のホテルで開催されました。

この定期総会では、19年度の決算、事業等の報告の後、20年度予算、事業計画等のほか、採択された各市提出議案は次のとおりです。

# 福井県市議会議長会 定期総会が開催されました

か、各市議会から提出された全18件の議案を採択しました。採択した議案については、今後、国・県等の関係機関へ要望活動を行うこととなります。